

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・施設の建設

コード	名 称	
事業名	3031	伊賀市庁舎建設事業
基本施策	60	市内各地域の特性を活かした分権型のまちをつくる

担当部課名	総務部総務課
作成者氏名	岡部隆次
連絡先	22-9610(2310)

事業の計画・内容

建設目的 現南庁舎は昭和39年に、現北庁舎は38年に建築され、事務室、設備等の老朽化は激しく、また、合併後の機構改革によって本庁の機能が拡大し事務量、職員数が増加し、事務室のスペースが十分ではなく、一方、市民にとっても利用しやすい施設でないので、新本庁舎建設について庁内協議、市民を含めた協議、調査し建設を進める。	建設内容	1 建設用地	伊賀市 市有地又は用地取得予定地
	2 建設面積(延床面積)	15,000㎡程度	
	3 規模・構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 6階建	
	4 総事業費(千円)	6,000,000	

投入資源

		H19	H20	H21
投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	2
	人件費合計(A)	3,600	3,600	14,400
支出内訳(千円)	事業費(B)	360	160,000	6,000,000
	委託料		160,000	
	工事費			6,000,000
	需用費	360		
	その他			
合計(A+B)		3,960	163,600	6,014,400
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債		152,000	5,700,000
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	3,960	11,600	314,400
上記 ~ に関する特記事項				

運営体制の予定

1 運営主体	直営	指定管理	民間委託
2 配置予定人員	(委託先:) 人		
3 年間運営費	千円		
4 市内の主な類似施設			

事業年度

開始年度	平成 19 年度	終了年度	平成 23 年度
------	----------	------	----------

事業計画(同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年 度				
	H19	H20	H21	H22	H23
検討委員会	←→				
設計業務委託		←→			
造成、建築工事			←→		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目 標
事業進捗率	庁舎建設に係るそれぞれの割合について、基本構想が10%、設計関係(基本・実施)を40%、建設を50%とした。	平成 23 年度 10%

評 価	必要性	4	庁舎の老朽化によりバリアフリーへの対応及び災害時の防災拠点として十分な機能を果たすことが困難となっている。また、建物の狭あいにより市民の利便性や各種申請、相談、会議等に対するスペースの確保が困難となっており、更に効率的な事務運営に支障がある。
	有効性	4	新庁舎建設に向けて、市として市民が参加する庁舎建設検討委員会で検討する新庁舎建設基本構想のたたき台ができる。
	効率性	3	新庁舎建設により維持管理コストの抑制を図ることができ、また事務事業の効率的な執行を図ることができる。

総合評価

A